

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 29 日(2023.8.29)

【公開番号】特開 2021-171310(P2021-171310A)

【公開日】令和 3 年 11 月 1 日(2021.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-053

【出願番号】特願 2020-77523(P2020-77523)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 21 日(2023.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を表示可能な演出表示部と、

演出表示を制御する副制御手段と

を備え、

付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、

前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制

御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

副制御手段は、

抑制状態となった場合には、表示中の演出の表示を消去して遊技の進行を停止した旨の表

30

示を表示するよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本態様に係る遊技機は、

演出を表示可能な演出表示部と、

40

演出表示を制御する副制御手段と

を備え、

付与される遊技価値数と使用される遊技価値数との差数に関する情報を記憶可能であり、

前記差数に関する情報が所定数に到達した場合には、遊技価値の獲得を抑制するための制

御が実行される状態である抑制状態となるよう構成されており、

副制御手段は、

抑制状態となった場合には、表示中の演出の表示を消去して遊技の進行を停止した旨の表

示を表示するよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

50

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係るぱちんこ遊技機は、

遊技球が入球可能な主遊技始動口と、  
 所定の入球口に取り付けられ、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材と、  
 閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口と、  
 可変入賞口に入球した遊技球が入球し得る特定領域と、  
 主遊技識別情報を表示可能な主遊技識別情報表示部と、  
 主遊技始動口への入球に基づき、主遊技情報を取得する取得手段と、  
 変動表示開始条件が充足した場合に、取得手段が取得した主遊技情報に基づいて、可変入賞口開放遊技を行うか否かの判定を行う特別遊技判定手段と、  
 取得手段が取得した主遊技情報に基づき、主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御する主遊技識別情報表示制御手段と、  
 主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御し、主遊技識別情報が特定態様の停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口を有利な状態とし得る可変入賞口開放遊技を実行可能であり、可変入賞口開放遊技の実行中に特定領域に遊技球が入球した場合には、可変入賞口開放遊技の終了後に特別遊技を実行可能である特別遊技制御手段と  
 を備え、

可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

主遊技識別情報の変動表示開始から停止表示までを一単位とし、一単位が特定回数（例えば、１０００回）行われることを契機として特定遊技状態（例えば、時短Ｂ）となり得るよう構成されており、

特定回数目の主遊技識別情報の変動表示において可変入賞口開放遊技を実行することを示す主遊技識別情報の変動表示の停止表示態様が特定態様で決定された場合、主遊技識別情報の変動表示の実行中に特定遊技状態となるよう構成されており、

可変入賞口開放遊技の実行中に特定領域に遊技球が入球した場合、特定遊技状態から通常遊技状態となるよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

また、本態様に係る遊技機は、

遊技球が入球可能な主遊技始動口と、  
 所定の入球口に取り付けられ、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材と、  
 閉状態と開状態とを採り得る可変入賞口と、  
 可変入賞口に入球した遊技球が入球し得る特定領域と、  
 主遊技識別情報を表示可能な主遊技識別情報表示部と、  
 主遊技始動口への入球に基づき、主遊技情報を取得する取得手段と、  
 変動表示開始条件が充足した場合に、取得手段が取得した主遊技情報に基づいて、可変入賞口開放遊技を行うか否かの判定を行う特別遊技判定手段と、  
 取得手段が取得した主遊技情報に基づき、主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御する主遊技識別情報表示制御手段と、  
 主遊技識別情報表示部にて主遊技識別情報を変動表示させた後で停止表示するよう制御し、主遊技識別情報が特定態様の停止表示態様にて停止表示された後、可変入賞口を有利な状態とし得る可変入賞口開放遊技を実行可能であり、可変入賞口開放遊技の実行中に特定領域に遊技球が入球した場合には、可変入賞口開放遊技の終了後に特別遊技を実行可能である特別遊技制御手段と  
 を備え、

可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

主遊技識別情報の変動表示開始から停止表示までを一単位とし、一単位が特定回数（例

を備え、  
 可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と、通常遊技状態よりも可変部材が開放し易い特定遊技状態とを有しており、

主遊技識別情報の変動表示開始から停止表示までを一単位とし、一単位が特定回数（例

えば、１０００回）行われることを契機として特定遊技状態（例えば、時短Ｂ）となり得るよう構成されており、

特定回数目の主遊技識別情報の変動表示において可変入賞口開放遊技を実行することを示す主遊技識別情報の変動表示の停止表示態様が特定態様で決定され、可変入賞口開放遊技の実行中に特定領域に遊技球が入球しないことを条件に、特定遊技状態となるよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

10

20

30

40

50